

未来へつなぐ

Vol.193

2026.07.06

鉄道

北海道新幹線延伸を見据え 札幌駅を大規模リニューアル

道都札幌の玄関口として多くの旅人を迎えてきた札幌駅。高架化から35年以上が経過し、JR北海道では北海道新幹線の延伸を見据えた大規模リニューアルを進めています。新たなコンセプトは『サツエキ ヒトキ』。これまで紡いできた歴史を継承しながら、発展を続ける駅周辺とともに新たな時代へ。出会いと交流が生まれる心地よい憩いの空間へと進化します。

東西コンコースのデザインを一新

新たなコンコースは、東西で異なるテーマを設定。西コンコースは北海道大学や赤れんが庁舎へと続く動線として、北海道の歴史と文化を感じられる空間へ。東コンコースは新幹線札幌駅や北5西1・2エリアの再開発ビルへとつながり、未来的で洗練された空間へと生まれ変わります。



また、北海道・札幌市と連携し、駅の案内機能を強化します。「みどりの窓口」と「JRインフォメーションデスク（外国人デスク）」、「北海道さっぽろ観光案内所」を改札外の一体的なエリアに隣接して配置し、観光案内からきつぷの手配までをシームレスで行える体制へ再編します。

2027年度末、魅力あふれる「エキナカ商業施設」が誕生

ご旅行中のお客さまはもちろん、地元の皆さまにも毎日気軽にご利用いただける新たなエキナカ商業施設を整備します。商業スペースを約1,300平方メートルから約2,000平方メートルへ拡大し、店舗数も18店舗から約30店舗へと拡充。「DO 3 STORY（ドウ サン ストーリー）」をコンセプトに、北海道で生まれた「ヒト・モノ・トキ」という3つの物語を紡ぎ、訪れる方へお届けする温かみのある空間を目指します。土産店はもちろん、旬の味覚やソウルフードが楽しめるスイーツ店、惣菜店、飲食店から、日常使いに便利なコンビニやベーカリーまで、バラエティ豊かなショップが揃う予定です。



新たな価値創造へ 2029年までのロードマップ

札幌駅大規模リニューアル工事は、2029年度上旬までの完了を予定しています。2026年度は主に駅施設の配置見直しや商業スペース拡大に向けた工事を実施します。秋頃には改札内の待合スペースを「待合室」に改め、冬でも暖かく快適に列車を待てる環境を提供します。

	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
札幌駅リニューアル	待合室新設			コンコースリニューアル
			窓口配置の見直し・東西連絡通路供用開始	
			商業施設開業	
エキナカ商業施設				



JR北海道は、快適な旅と豊かな交流、地域の魅力発信の拠点として、札幌駅エリア全体の価値向上に努めてまいります。進化する「サツエキ」にどうぞご期待ください。

未来（あした）へつなぐ 記事一覧はこちら

この記事シェアする

